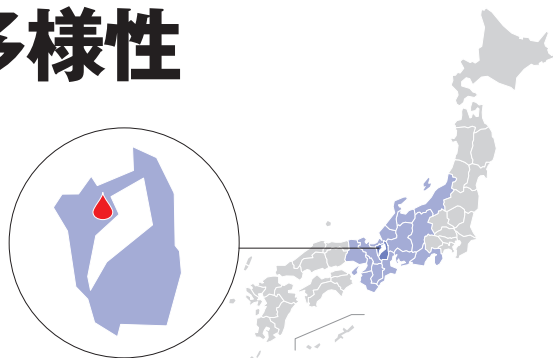


琵琶湖の水と生命と文化を守りたい！

田んぼと水が育む！ 里山の暮らしと生物多様性

団体名 **たかしま有機農法研究会**

主な活動地域 **滋賀県高島市内全域**



目的

京阪神の水がめ、琵琶湖の水質汚濁のもっとも大きな要因は、流域内の水田からの農業排水と言われる。有志農家の集まりである「たかしま有機農法研究会」では、化学農法・化学肥料を使わない農法のモデルケースとなる活動を始めた。技術開発に加え、生き物に配慮した保全策を講じ、小学校などとも連携して生命の存在に気づく機会を増やし、琵琶湖の水と生命と文化を守りたい。

実施内容

高島市には美しい里山が未だ残っており、希少生物の生息も確認されている。山清水や湖畔の湧水群などの豊かな水環境を背景に、人と自然が共生している。この環境を守るために、水でつながる生物多様性保全策として、無農薬有機栽培の田んぼ特有の水管理方法に対応できる「たかしま流L字式千鳥X型魚道」を設置する。ソーラーポンプによる秋期湛水田・冬期湛水田の拡大で水鳥の楽園を作り、また休耕田を利用した水田ビオトープで水生昆虫の安住の地を生む。在来種への悪影響が心配される外来生物の個体数削減や防除にも取り組む。これらの活動や、高島の自然環境の記録を使って、他地域の手本になるようなDVD、地図などを作成する。



ボランティアに参加しよう！

- ★たかしま流L字式千鳥X型魚道の設置
2008年11月～2009年3月
- ★ブラックバス・ブルーギル駆除イベント
2008年11月～2009年2月
- ★活動記録として成果物作成
2009年1月～9月



市役所会議室に集まった大勢の方から熱い想いを聞く



雑草はあるが、有機農法でも今年は豊作だという

選考委員のひとこと

農家の方の決断、無農薬有機栽培によって生き物にも食べる人にも、そして農家の方々にとっても優しい環境になると感じた。有機農法のお米を食べようと思う。

TOTOエンジニアリング Mさん記



水が絶えず流れるため生物が自由に行き来できる魚道